総 社 祭 日 程

１	開会の辞（伝承芸能保存会長挨拶）	９時３０分 から ９時４５分まで
２	神輿担ぎ・練り歩き	９時４５分 から １０時１５分まで
３	太刀祓い（踊り安全祈願）	１０時３０分 から
４	うちわ踊り・太刀踊り等の披露	
	① 皆尾うちわ踊り（小学生）	１０時４０分 から
	② 下切太刀踊り	１０時５０分 から
	③ 下長谷太刀踊り（中学生）	１１時００分 から
	④ 柚ノ木太刀踊り（中学生）	１１時１０分 から
	⑤ 柚ノ木太刀踊り	１１時２０分 から

※地域の伝統芸能を受け継ごうと、子どもたちも、頑張って踊ります。
ぜひ、見に来てください。

５	もち投げ	（踊りが終わり次第）
６	閉会	（もち投げが終わり次第）

※開催場所：**五社神社**
※駐 車 場：ふれあい広場駐車場・農業公社駐車場
農業公社ユズ選果・搾汁施設 駐車場

総社祭の歴史

総社祭は村内宮ノ川の五社神社、諏訪神社、八坂神社による秋祭りである。

宮ノ川助太山の山麓に存在した諏訪神社付近において、当日は東部（成山、狼内、上長谷）南部（芳井、下長谷）の若衆が諏訪神社の、西部（下切、亀ノ川、広野、皆尾）の若衆が五社神社の、宮ノ川は八坂神社のそれぞれの神輿を担いで踊り場に集合した。村内各地区の太刀踊り、団扇踊りが奉納された他、中間を選出して３頭が踊り駄場を駆け登る「あげ馬」も飛ばされ、騎手は飾り立てた衣装で馬上にまたがり、双手を放し右に左に鞭をあて一気に駆け抜ける勇壮な奉納行事であった。隔年ごとに、広野の「猪舞」も披露され、村最大の年中行事として400年以上続いていた。四万十市中村の「一條大祭」、「不破八幡宮大祭」と並び幡多3大祭りの一つと言われ、村外からも参拝者があったが、1953（昭和28）年を最後に行われなくなった。

そうした中で、2017（平成29）年、有志によって復活に向けた機運が高まり、64年ぶりに祭りを復活させることが出来た。